

演題

「福島イノベーション・コースト構想」とは

—被害者を置き去りにした復興政策と軍民両用産業拠点化—

政府が進める復興政策「福島イノベーション・コースト構想」とは何なのか。福島被害者の思いを踏みにじるその真の目的について、お話しいただきます。子育て世代や若者のみなさんの参加もお待ちしています。

講師 ^{わだ なかこ} 和田 央子さん



2024年 3月2日(土)

開場: 13時30分 開会: 14時00分(16時30分終了)

♪♪ ピアノ・ソプラノ・琴ユニット「弦声」による演奏あります

場所: 「平塚市中央公民館」(4階小ホール) 平塚市追分 1-20


平塚駅より徒歩 15分 ☎0463-34-2111

先着 100名様 (予約優先)

資料代 300円
託児あり(無料)

メールでお申し込みの方は、タイトルに講演会希望とお書き添えください。

託児ご希望の方は2月15日(木)までに、下記連絡先へお申し込みください。

中央公民館へのアクセスについては裏面 

代表 小嶋倫子 連絡先(小嶋)090-6798-7534 E-mail w.k@mg.scn-net.ne.jp
(こばなわ)070-6408-9669 E-mail michifune@yahoo.co.jp

「和田央子さんプロフィール」

2001年東京より福島に移住。原発事故翌年の2012年、自宅から2キロの鮫川村に環境省が除染廃棄物を燃やすための仮設焼却炉を建設したことをきっかけに、放射能ゴミ処理問題に取り組む。2015年より「福島イノベーション・コースト構想」にも着目し、2022年10月有志で「イノベーション・コースト構想を監視する会」を立ち上げる。ブログ「ごみから社会が見えてくる」facebook「燃やすな除染廃棄物—焼却・バイオマス発電に反対」「イノベーション・コースト構想を監視する会」などで情報発信中。

FOH 福島の親子とともに平塚の会



福島子どもたちを放射能から守る保養活動は2012年夏より26回の取り組み、106家族415名が参加しました。ハンディーのあるお子さんやリピーターも積極的に受け入れていきます。参加されたお母さんは「海や川や山登りなど自然の中で、子どもたちがあれ程夢中になって遊ぶ姿を見たことはありません」と喜んでくれました。夏休みには、地域の人々との交流会も行っています。

保養家族で避難してきた二家族の支援、神奈川県に避難している避難家族の裁判（福かな裁判）も支援しています。年2回の講演会は21回開催しています。

- 会の目的
- ① 福島の親子の短期保養受け入れ。
 - ② 福島の人たちとつながり、さまざまな問題解決を目指す。
 - ③ 国や東電など原発を推進してきた人たちの責任をあいまいにしない運動を進め、原発のない社会をめざす。

ここ数年はコロナ禍で自主保養（自宅近辺の低線量地に宿泊する）をしてもらっていましたが、この冬は以前のように平塚で保養受け入れができ、餅つきや会のスタッフとの交流会など開催することができました。この会の活動は、皆さまからのカンパで運営されています。カンパのご協力をよろしくお願いいたします。会員（年会費2千円）、ボランティアも募集しています。

変わらぬご支援を
お願いします

春夏冬、年3回の保養に取り組んでいます
保養カンパをお寄せ下さい

郵便局振替口座 00200-5-82983

他行から

店名〇二九 店番 029 当座 0082983

口座名 福島の親子とともに・平塚

アクセス

※駐車場の台数に限りがあるため、公共交通機関のご利用をお勧めします。

バス：「平塚駅北口」4番乗り場から平63、平65、平68、平86、平97、平62に乗車
※平67を除きます。

「江陽中学校前」下車徒歩1分

徒歩：平塚駅北口または西口から徒歩15分

